

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・阿部・宮崎・松岡
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>学年全体の学習イメージをつけることができる</p> <p><教員経歴> 今井/阿部/松岡:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している 宮崎:芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認						
2	【到達目標】 年間のスケジュールが理解できるようになる						
3	学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る						
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について						
6	【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ						
7	就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる						
8	【評価】出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	相互支援演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・阿部・宮崎・松岡
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラス全体でファッションを考え、競技に取り組むことで、協調性を養い、クラス・学科間の相互支援関係を構築する							
<教員経歴> 今井/阿部/松岡:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している 宮崎:芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる							
【授業を通じての到達目標】							
・競技参加種目を決める ・クラスごとに衣装のコンセプトを決める ・当日を楽しみ、仲間を応援する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 参加競技決定 役割・委員決め 衣装決定						
2	【到達目標】						
3	クラス内で役割を決め、参加する競技を決める クラスごとにコンセプトを基に衣装を決める						
4	小テスト・中間テスト:事前準備の積極性にて評価 40点満点						
5	【授業単元】 行事当日 各種目に参加する						
6	【到達目標】						
7	各自与えられた役割を基に、競技に参加し、行事を運営する。 応援を通し、相互支援関係を構築する。						
8	【定期テスト】 当日の出席・競技の積極性・応援の積極性等にて評価60点						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ (Professional seminarⅢ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	宮崎・松岡・今井・阿部
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 1組→金曜3限 2組→金曜2限 3組→水曜3限 4組→水曜2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択できるようになる ※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識・自己アピール力について指導し、第1希望企業の採用試験での内定を得られる人材育成授業を行う (講師経歴) 今井/阿部/松岡:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している 宮崎:芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる							
【授業を通じての到達目標】 ・就職活動に向けて自分の強みに気づき、相手に的確に伝えることが出来るようになる ・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	自己紹介、新年度準備物について、2年次スケジュール、就職活動ルール確認 アクションプラン説明						
2	履歴書対策①(志望動機・自己PR) アクションプラン作成						
3	就職活動について(キャリアセンター) 履歴書対策②、面談						
4	就職活動対策①(企業対応の仕方/DM・電話・メール・言葉遣い)						
5	就職活動対策②(内定令状の書き方) 1・2年生交流会について					小テスト 10点	
6	就職活動対策③						
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	卒業生・企業講話						
9	1・2年生交流会/プレゼンテーション作成						
10	1・2年生交流会/プレゼンテーション発表					小テスト 10点	
11							
12	社会人基礎知識・卒業アルバムワーク 内定後のマナーについて						
13	夏休み課題、キャリアセンターより就職活動指導 (夏休み中の就職活動について・8/24未内定者面談について)						
14	1～13回目までの授業の振り返りを行う						
15	定期テスト(60点満点)					定期テスト 60点	
【特記事項】 毎授業【持ち物】 ・iPad				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界研究Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・阿部・宮崎・松岡
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
〈教員経歴〉 今井/阿部/松岡:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している 宮崎:芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り 【到達目標】ヘアメイクの仕事を一時的な視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界特別授業Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・阿部・宮崎・松岡
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
<教員経歴> 今井/阿部/松岡:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している 宮崎:芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティストの実演を通してヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイク事情						
2	【到着目標】 ヘアアーティストとメイクアップアーティストの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める						
3							
4							
5	【授業単元】 ヘアメイクアーティストの技術実演①						
6	【到着目標】 制作プロセスから見学し、自分の作品制作に活かすことができる						
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	photo shooting II	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷 今井 秋本 久保 堤 鈴木
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れた実習を実施する。							
<p>〈講師経歴〉</p> <p>桐谷:美容サロンで5年以上勤務しTV、雑誌のヘアメイクを経験後渡英。イギリスにてサロンワーク、コレクションヘアメイクを経験し帰国。帰国後はサロンディレクターと兼任して、フリーランスとしてヘアメイク事務所に所属し、講師、コレクション、スチール、TV等のヘアメイクに従事。</p> <p>今井:音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。</p> <p>秋本:外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中</p> <p>久保:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年)</p> <p>堤:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージなどで活動。化粧品ブランドアーティストとしても約12年現役で務める。</p> <p>鈴木:外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年)</p>							
【授業を通じての到達目標】							
自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【授業単元】スタジオワークデモンストレーション						
2	【到達目標】撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認する						
3	【授業単元】イメージヘアメイク						
4	【到達目標】イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける						
5	【授業単元】クリエイティブヘアメイク						
6	【到達目標】フォトコンテストで賞を受賞するような作品のディレクションやアイデアを研究する						
7	【授業単元】スタジオワーク						
8	【到達目標】個人用作品の充実を図る						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅲ (Hairmake synthesis techniqueⅢ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	東村 忠明
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	HMB: 奇数週 火曜1~4 HMC: 偶数週 火曜1~4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映画、ドラマ、広告、ファッションスチール、イベント、ショーまで、様々な現場を経験している講師が授業を担当し、現場の雰囲気やイメージしながらヘアメイクとして求められるスキルと技術をジャンルに合わせて習得する <講師経歴> 東村:ヘアメイク歴15年。東京を拠点にサロンワーク、ファッションショー、モード誌、広告撮影、ドラマ、映画、舞台、幅広いジャンルで活躍中。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼン力を習得。 自己判断、好みに走り過ぎないよう、クライアントや第三者が見ても共感を得られる様なビジュアル作りを目標とする。 授業を通じ、現場で何が求められているか考え行動出来るようにし、即戦力になるスキル、マインドを身につけることが出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	[ヘアメイク/デモンストレーション] オリエンテーション。講師によるデモンストレーション。						
2	[テクスチャー&プロダクト/ヘアー] スタイリング剤の効果と質感を学ぶ。						
3	[リアルヘアメイク①/メイク] ベースメイクアップの質感を操作する。					小テスト 5点	
4	[リアルヘアメイク①/ヘアー] 髪の状態に応じたベースメイクとアイロンワークを学ぶ。						
5	[リアルヘアメイク②/メイク] ポイントメイクパターンを使い分ける。					小テスト 5点	
6	[リアルヘアメイク②/ヘアー] 髪の状態に応じたベースメイクとアイロンワークを学ぶ。						
7	[中間テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。					中間テスト 20点	
8							
9	[クリエイティブメイク] プリント、ペイント、ペーストによるメイククリエーション。					小テスト 5点	
10	[クリエイティブヘアー] 特殊なアイロンワーク、アイデアを研究する。						
11	[ウィッグメイキング] ウィッグのカットとスタイリング					小テスト 5点	
12	[サブカルヘアメイク] 作成したウィッグを元に、サブカルスタイルに仕上げる。						
13	[撮影リハーサル/ヘアーメイク] 定期テスト撮影を想定した実習。						
14	[定期テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。					定期テスト 60点	
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失) F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
				1			

科目名 (英)	Advance Hairmake Design I (Advance Hairmake Design I (A))	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷/今井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜1~4、金曜1~4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>様々なバリエーションのヘアメイクを学び、現場の目線からのアドバイスを受けながら、ヘアメイクとしての技術や知識を身につける事ができる。基礎技術と構成力をもとに、スチール撮影に向けての授業を行う事で、発想力と将来の現場対応能力が身につく。</p> <p>〈講師経歴〉 桐谷:美容サロンで5年以上勤務しTV、雑誌のヘアメイクを経験後渡英。イギリスにてサロンワーク、コレクションヘアメイクを経験し帰国。帰国後はサロンディレクターと兼任して、フリーランスとしてヘアメイク事務所に所属し、講師、コレクション、スチール、TV等のヘアメイクに従事。 今井:音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアの基礎技術を深めながら、新しい技術を学ぶ事で、バリエーションを増やす事が出来、スチールやコンテストに向けて、レベルアップした作品が作れるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア道具一式							
回	授業概要					テスト配点	
1	1年次のヘア復習/基礎技術と新しい技師を学ぶ事でレベルアップする						
2	1年次のヘア復習/基礎技術と新しい技術を学ぶ事でレベルアップする						
3	スチール導入(コンセプト、規定等)/ヘアメイク練習						
4	スチール用コンセプトシートチェック/スチール撮影 事前準備					小テスト 10点	
5	ヘア基礎/ヘア技術バリエーションを学ぶ						
6	ヘアの構成を学ぶ/アレンジの発想力を高める						
7	ヘアの構成を学ぶ/アレンジの発想力を高める						
8	中間テスト					中間テスト 20点	
9	スチールヘアメイク練習/画角を考えながら試作						
10	スチールヘアメイク練習/画角を考えながら試作						
11	コンテスト導入(コンセプト、規定等)/コンセプトシート、ラフ案作成						
12	ヘアの構成を学ぶ/アレンジ(エクステンション、ヘッドパーツ)						
13	コンテストヘアメイク試作/360度で見せるヘアメイクの作り込みを考える					小テスト 10点	
14	コンテストヘアメイク試作/360度で見せるヘアメイクの作り込みを考える						
15	定期テスト(コンテスト内容、コンセプトシート提出にて評価)					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Advance Hairmake Design II (Advance Hairmake Design II)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤/秋本
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜1~4、金曜1~4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) スチールメイクやコンテストメイクを学び自分の作品に落とし込む創造力を伸ばす。							
<p>〈講師経歴〉 堤:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージなどで活動。化粧品ブランドアーティストとしても約12年現役で務める。 秋本:外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中</p>							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を習得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	creative make(グラデーション)					小テスト 5点	
2	backstage make(眉消し)						
3	creative make(ペイント)						
4	backstage make(ダブルライン、つけまつ毛)					小テスト 5点	
5	creative make(トライバル)						
6	backstage make(ビビットカラー、グリッター)						
7	creative make(和風)					中間テスト 20点	
8	中間テスト						
9	スチール撮影準備					小テスト 5点	
10	スチール撮影準備(最終チェック)						
11	コンテスト 導入						
12	creative make(マスキングテープ、2D3Dメイク)					小テスト 5点	
13	スチール、コンテストへ向けて(実技)						
14	コンテストへ向けて(実技)						
15	定期テスト					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Advance Hairmake DesignⅢ (Advance Hairmake DesignⅢ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保 鈴木
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日1～4限、金曜日1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージ、化粧品ブランドアーティストとして現役で活動している講師が、応用、舞台映えるメイク知識、技術について授業を展開し、卒業制作発表会のレクチャー、サポートを行う <講師経歴> 久保:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年) 鈴木:外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年)							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応 出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	Practical make(トレンド)					小テスト5点	
2	Practical make(トレンド)						
3	Practical make(コントアリング)						
4	Practical make(ネオンデザイン、変形ライナー)					小テスト5点	
5	Practical make(中世風)						
6	Practical make(骨格、配色)						
7	Practical make(骨格、配色)						
8	中間テスト					中間テスト20点	
9	スチールに向けて						
10	スチールに向けて(最終チェック)					小テスト5点	
11	Practical make(肌作り)						
12	Practical make(メンズメイク)					小テスト5点	
13	コンテストに向けて(実技)						
14	コンテストに向けて(実技)						
15	定期テスト					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファイナルコンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・阿部・宮崎・松岡
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 1年次および2年次前期の学びを活かし、独創的な作品を発表する							
<教員経歴> 今井/阿部/松岡:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している 宮崎:芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる							
【授業を通じての到達目標】							
モデルを対象に、コンセプト通りの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 コンセプト作成および仕込み 【到達目標】 ・テーマを基にイメージを膨らませ、コンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に必要な材料をそろえる ・モデルに対し、事前に衣装合わせなどを実施する						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 コンテスト発表 【到達目標】 ・コンセプトシートを基にモデルにヘアメイクを施す ・制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う 【評価】 審査員および指導教員の評価により100点満点にて評価する						
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●事前審査および当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッション講座Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前嶋
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。							
〈講師経歴〉 前嶋:美術学科卒業後、広告宣伝業務に携わりファッションコーディネートについての業務も担当。							
【授業を通じての到達目標】 基本知識を活用し、トレンドを取り入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 授業概要理解 【到達目標】 ネクタイの結び方(2種)を体得する。授業概要を理解する。						
2	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
3	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
4	【授業単元】 中間テスト 帽子の正しいかぶり方 【到達目標】 帽子の種類(由来やかぶり方)を理解する。						
5	【授業単元】 クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】 シルエットを考察し、着方を発見する。						
6	【授業単元】 小テスト 新しい考え方のポイントを知る 【到達目標】 ストリートファッションとは。ユニバーサルデザインとは。新素材や形の扱い方を理解する。						
7	【授業単元】 黒い服と白い服① 【到達目標】 バランスをとる方法を理解する。						
8	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 4種のトレンドマップを提出する。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	特殊メイク演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東村
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
<p>【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。</p> <p>〈講師経歴〉 東村：ヘアメイク歴15年。東京を拠点にサロンワーク、ファッションショー、モード誌、広告撮影、ドラマ、映画、舞台、幅広いジャンルで活躍中。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
舞台メイク基礎を学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】舞台メイク教材基礎知識 【到達目標】発汗に強いベース作り						
2	【授業単元】ベース作り 【到達目標】ベース作り～立体感・陰影作り						
3	【授業単元】小テスト ベース作り 【到達目標】ベース作り～完成まで						
4	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅰ 【到達目標】ポイントメイクの基礎をおさえる						
5	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅱ 【到達目標】ポイントメイクの基礎を実践する						
6	【授業単元】小テスト 舞台映えメイク 【到達目標】全体のバランスを考慮し、舞台上で映えるメイク完成						
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】相モデルで時間内に完成させる						
8	【授業単元】ボディペインティング 【到達目標】ボディペインティング教材基礎知識、ボディアート実技						
9	【授業単元】舞台メイクとボディペインティング 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させる						
10	【授業単元】舞台メイクとボディペインティングⅡ 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させ仕上げる						
11	【授業単元】舞台メイク応用 【到達目標】舞台メイクを応用させ、実践する						
12	【授業単元】キャラクターメイク 【到達目標】キャラクターメイクに特化して学						
13	【授業単元】作品作り 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
14	【授業単元】作品作りⅡ 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】舞台メイク応用で学んだ技術を生かしボディアートを取り入れた作品を仕上げる						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			